（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和2年7月1日※1
（前回公表年月日：令和元年7月1日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専修学校 沖縄ペットワールド専門学校	平成16年3月22日	前新　健	〒900-0034 沖縄県那覇市東町19-20 （電話）098-861-1586
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人KBC学園	平成6年3月14日	大城　圭永	〒900-0025 沖縄県那覇市壺川3-5-3 （電話）098-835-4240

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	動物看護・管理学科（2年制） （動物看護美容コース　動物看護専攻）	平成28年文部科学省 告示第19号	－

学科の目的	動物業界に関わる職業人として、動物や自然に関する専門知識な技術・能力を身に付け、その知識に基づく実習・演習を通して実務に関する実践的な技術・技能を習得した人材を組織的に教育・育成することを目的とする。
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,270時間	1,232時間	346時間	692時間	0時間	0時間
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人の内数	29人	0人	2人	10人	12人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 試験結果および出席状況
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏　季：7月21日～8月31日 ■冬　季：12月24日～1月10日 ■春　季：3月1日～4月10日 ■学年末：3月31日	卒業・進級条件	①基準検定の取得 ②成績評価すべてC評価以上 ③出席状況　年間90%以上 　および2年間　1,700時間以上
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 個人及び保護者面談・カウンセリング	課外活動	■課外活動の種類 沖専各協会主催体育大会、沖縄県主催動物愛護ボランティア等 ■サークル活動：　有

就職等の状況※2

■主な就職先、業界等（令和元年度卒業生）
tama動物病院、蘭動物病院、ペットメディカルセンターエイル

■就職指導内容
センスアップセミナーの開催、担任や就職担当者による個別指導等

■卒業者数	：	13	人
■就職希望者数	：	11	人
■就職者数	：	11	人
■就職率	：	100	%
■卒業者に占める就職者の割合	：	84.6	%

■その他
・進学者数：1人
・病気療養者数：1人

（令和　元 年度卒業者に関する
令和2年3月31日 時点の情報）

主な学修成果（資格・検定等）※3

■国家資格・検定/その他・民間検定等
（令和元年度卒業者に関する令和2年3月31日時点の情報）

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
動物看護師統一認定機構動物看護師	③	13人	10人
愛玩動物飼養管理士	③	13人	12人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄
（例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

中途退学の現状

■中途退学者　2 名　■中退率　6.7 %
令和元年4月1日時点において、在学者30名（令和元年4月1日入学者を含む）
令和2年3月31日時点において、在学者28名（令和2年3月31日卒業者を含む）
■中途退学の主な理由
進路先決定、生活習慣の乱れ

■中退防止・中退者支援のための取組
①入学前の教育課程及び学費の説明の徹底　②臨床心理士ガイダンスの実施

経済的支援制度

■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有・無
※有の場合、制度内容を記入

■専門実践教育訓練給付：　給付対象・非給付対象
※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
令和元年度実績：0名

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　有・無
※有の場合、例えば以下について任意記載
（評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）

当該学科のホームページURL

http://www.pet.ac.jp/

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

①卒業生の主な就職先である動物病院・トリミングサロン・ドッグトレーナー・ネイチャー関連施設と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を習得した即戦力となる人材を育成する。

②動物看護・管理学科における学修の中心となる動物の世話と管理、動物看護・手術実習、しつけトレーニング、グルーミング理論・実習、海洋実習、環境調査・実習等の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の課程を明記

①学校の専門分野に関する業界動向、国および地域の産業振興の方向性、必要となる実務に関する知識・技術等から生じる専門学校の教育内容について意見交換等を行う事により、教育の質の向上をはかることを目的とする。

②教育課程編成委員会は、教育課程への意見を求める校長からの諮問に対し、教務責任者が委員長を務め、各学科責任者が参加することにより、企業等から提出された問題点の指摘や提言を次年度以降の教育課程（授業科目・授業方法・内容等）に反映させるべく討議を行う。

③校長は教育課程編成委員会設置規定に基づき、委員長からの意見（答申）を得て、次年度以降の教育課程の編成を行い、具体的な意見の反映の結果については、直近の委員会に報告する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
金城　高治	（有）PET　CLUB　OCEAN　代表取締役	令和元年4月1日～平成3年3月31日（2年）	③
喜納　保	ペットメディカルセンター・エイル　取締役	令和元年4月1日～平成3年3月31日（2年）	③
中村　毅	オム・ファム㈱　代表取締役	令和元年4月1日～平成3年3月31日（2年）	③
大宜見　こずえ	財団法人沖縄こどもの国　動物園課　課長	令和元年4月1日～平成3年3月31日（2年）	①
吉田　剛	沖縄ペットワールド専門学校　副校長	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）	
與那原　美奈子	沖縄ペットワールド専門学校　教務課長	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）	
山川　裕子	沖縄ペットワールド専門学校　教務課長	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）	
仲松　謙	沖縄ペットワールド専門学校　教務課長	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年間開催数：2回（毎年8月・3月）

（開催日時（実績））

第1回　令和元年9月20日　16:15～17:15

第2回　令和2年2月21日　15:00～16:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会より、コミュニケーション能力の向上の必要性やインターンシップの内容について提言を頂いたことから、下記について強化を図る。

・一般的なコミュニケーション能力の強化を図る。

・インターンシップやボランティアに参加し、アウトプットする時間の確保。

・無断欠席への対応方法

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

①企業との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。

②企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等に実務の視点から評価を仰ぐ。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

上記方針を実現するために、教育課程における科目について、動物業界について専門的知見を有する企業と連携し、実務に関する実践的な技術・知識を習得するための臨床実習を行う。実際に企業にて業務の体験・実習を実施し、主に実践力（実務能力）を軸とした評価を行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
動物看護 総合実習ⅠⅡⅢ	動物病院で看護実践を学び、病院内業務の補助を行う	動物病院22時株式会社 ペットメディカルセンター・エイル ながみねどうぶつクリニック 琉球動物医療センター おもろ動物クリニック 総数27社
動物外科 看護学実習ⅠⅡ	動物病院の獣医師より、術前検査に関する意義・外科手術前後における基本的な知識・手技を身に着け、手術助手として獣医師サポートや外回りの業務内容について習得する	ペットメディカルセンター・エイル

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するため、関連する機関と連携して実務に関する知識、技術、技能の修得及び教員個々の教育活動上の役割を考慮し、指導スキルの向上を目的とした組織的かつ計画的な研修を行う。

①教育課程専門委員会に参画する企業等から講師を招いた実践的な知識・指導スキル研修
②教職員の能力向上および資質等の向上を図ることを目的とした研修等への派遣
③専門的かつ実践的な知識・技能・指導スキルを身につけるための研修等への派遣
④学校法人KBC学園教職員研修規定第4条、第5条に基づき必要な知識技術の研修を実施

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等
研修名「日本獣医内科学ｱｶﾃﾞﾐｰ学術大会」(連携企業等:一般社団法人 日本獣医内科学アカデミー(JCVIM))
期間:2020年2月21日(金)～22日(土)　　対象:動物看護専攻職員
内容:獣医療における内科学セミナー
教育内容との関係性:動物看護師養成コアカリキュラム科目対応に関する内容
企業等との連携内容:専門家からの最新技術の習得

②指導力の修得・向上のための研修等
研修名「キャリアサポート研修」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)
期間:2019年8月6日(火)～8月8日(木)　　対象:動物看護専攻職員
内容:学生キャリアガイダンスにおける基本
教育内容との関係性:在校生のキャリアガイダンスの際に必要となる基本的な態度・姿勢を学び学生をサポートする
企業等との連携内容:教員と学生間の信頼関係を構築するコミュニケーション技法を習得

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等
研修名「日本獣医内科学ｱｶﾃﾞﾐｰ学術大会」(連携企業等:一般社団法人 日本獣医内科学アカデミー(JCVIM))
期間:2021年2月19日(金)～20日(土)　　対象:動物看護専攻職員
内容:獣医療における内科学セミナー
教育内容との関係性:動物看護師養成コアカリキュラム科目対応に関する内容
企業等との連携内容:専門家からの最新技術の習得

②指導力の修得・向上のための研修等
研修名「キャリアサポート研修」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)
期間:2020年8月17日(月)～8月19日(水)　　対象:動物看護専攻職員
内容:学生キャリアガイダンスにおける基本
教育内容との関係性:在校生のキャリアガイダンスの際に必要となる基本的な態度・姿勢を学び学生をサポートする
企業等との連携内容:教員と学生間の信頼関係を構築するコミュニケーション技法を習得

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当校の教育理念は、高度な技能技術を身に付け、人間性豊かな永久戦略となる人財を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現する為に必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①教育理念・育成する人財像が「学生の手引き」に記載されているか ②教育理念・育成する人財像が、教職員手帳等に記載されているか ③教育理念・育成する人財像が、HP、パンフレット・募集要項等に記載されているか ④学科の修業期間における教育事業計画が文書化され、提示されているか
(2)学校運営	①年度予算、中期計画が策定されているか ②予算は計画に従って妥当に執行されているか、定期的に確認しているか ③理事会・評議委員会が定期的に開催されているか ④運営会議が定期的に開催されているか ⑤人事考課制度は文書化されているか ⑥賃金制度は文書化されているか ⑦採用制度は文書化されているか ⑧勤務管理が適正にされているか

(3)教育活動	①教育理念の達成に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか ②カリキュラム作成の為のカリキュラム作成委員会があるか ③カリキュラムを作成するに当たり、教育課程編成委員会を開催し業界関係者等の外部関係者の意見を取り入れているか ④シラバス或いは講義要項等が作成されているか ⑤シラバス或いは講義要項等が事前に学生に配布されているか ⑥学生アンケート等による授業評価が定期的に行われているか ⑦授業改善の為の組織的取り組みが行われているか ⑧企業・施設等での職場実習があるか ⑨キャリア教育等を行っているか ⑩ビジネス教育を行っているか ⑪コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか ⑫教職員の育成計画等が策定されているか ⑬専門性や指導力向上の為の外部研修・研究へ派遣しているか ⑭教員の資質の向上の為の、自己啓発への支援をしているか ⑮非常勤講師との定期的な情報共有の為のミーティング等を開催しているか。および非常勤講師からの報告書が提出されているか
(4)学修成果	①就職に関する目標を設定したか ②就職に関する目標は教職員に共有されているか ③就職活動に関する記録がなされているか ④学生の就職結果に関して検証・報告がされたか ⑤資格・検定・コンペに関する目標を設定したか ⑥資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか ⑦資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか ⑧進級率の目標を設定しているか ⑨進級率に関する目標・計画が教職員に共有されているか ⑩退学結果に関して検証・報告がされたか
(5)学生支援	①担任による面談が定期的に行われているか ②担任は、適切に配置されているか ③学生のメンタルヘルスについて相談できる窓口が整備されているか ④学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があり、周知されているか ⑤学生の面談・相談記録があるか ⑥定期的に健康診断を行っているか ⑦奨学金制度等の経済的支援があるか ⑧保護者との計画的な相談会・面談を行っているか ⑨卒業生の会(同窓会等)はあるか ⑩卒業生への職業紹介をしているか ⑪卒業生の就業状況把握の為の取り組みを行っているか
(6)教育環境	①組織図はあるか ②学校の年間スケジュールはあるか ③図書室・図書コーナー等があるか ④キャリアサポートを行う就職支援室・支援コーナー等があるか ⑤喫煙に関する規定が文書化・提示されているか ⑥環境エコ活動に関する規定が文書化・掲示されているか ⑦学内の整理・整頓・清掃に関する規定が文書化されているか。また定期的に管理、チェックがされているか ⑧学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか ⑨学校生活において保険に加入しているか ⑩教育施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ⑪防災・防犯対策に対して文書化・組織化されているか ⑫防災・防犯訓練・研修が定期的に実施されているか
(7)学生の受入れ募集	①学校案内等に目指す資格・検定・コンペが明示されているか ②学校案内等に学費・教材費・選抜方法等が明示されているか ③入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制が出来ているか ④学校説明会等による情報提供を行っているか ⑤入学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか
(8)財務	①会計監査の結果報告が文書等にて明確化されているか ②私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか ③備品及び車両に関する管理規定が文書化・管理されているか ④物品購入等における複数業者からの確認がされているか

(9)法令等の遵守	①個人情報保護規定が文書化されているか ②セクシャルハラスメントに関する規定が文書化されているか ③施設設備の保守・管理が定期的に行われているか ④防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか ⑤教職員の健康診断がなされているか ⑥自己点検・評価の為の運用ルールが文書化されているか ⑦自己点検・評価の組織があるか ⑧自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか ⑨自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。結果に基づき計画的に改善を実施しているか ⑩自己点検・評価報告書があるか。公表されているか
(10)社会貢献・地域貢献	①社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか ②教育資源を地域社会に提供しているか ③社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を奨励・支援しているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

令和元年度結果に基づく学校関係者評価の結果、教育の内容、特に授業指導力向上の為、一コマシラバスの作成を推進する事について提言を受けた。全科目においてコマシラバスの整備を強化し、教育内容の充実を図ることとする。学校関係者評価結果に基づく改善改革を今後も推進する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
金城　高治	(有)PET　CLUB　OCEAN　代表取締役	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等役員
喜納　保	ペットメディカルセンター・エイル　取締役	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等役員
中村　毅	オム・ファム㈱　代表取締役	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等役員
大宜見　こずえ	財団法人沖縄こどもの国　動物園課　課長	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	団体役員
山城　徹美		令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他(　　))

URL:http://www.pet.ac.jp/

公表時期:令和2年7月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資する事。その為に、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題等学校全体に関する情報を分かり易く示す事。
②又、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼につなげていく事。
③情報の公開を通じて学校の教育の質の確保と向上を図る事を目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①沿革　②学校の特色・教育理念　③校長挨拶　④所在地、連絡先
(2)各学科等の教育	①募集学科・定員　②入学方法　③カリキュラム　④目標とする資格・検定　⑤資格・検定実績　⑥就職状況
(3)教職員	①教職員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①就職サポート
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事
(6)学生の生活支援	①各種サポート　②学生の声
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金　②学費免除制度、奨学金
(8)学校の財務	①収支計算書、貸借対照表、監査報告
(9)学校評価	①自己点検・評価　②学校関係者評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他(　　))

URL:http://www.pet.ac.jp/

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程　動物看護・管理学科（2年制）　動物看護美容コース 動物看護専攻）令和2年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			パソコン実習Ⅰ	ワープロ、エクセル３級の取得を目指す	1前	28				○	○		○		
○			動物外科看護学Ⅰ	術前検査に関する意義・外科手術前後における基本的な知識・手技について習得する	1後	15		○			○		○		
○			動物外科看護学実習Ⅰ	検体検査・生体検査に関する意義・基本的手技を身に着ける	1後	45				○	○			○	○
○			伴侶動物学	犬・猫以外の小動物について適正飼育と主な疾患を理解する	1通	60		○			○		○		
○			動物看護学概論Ⅰ	動物看護学倫理・概念、動物看護過程について基本を学ぶ	1通	30		○			○		○		
○			動物医療コミュニケーションⅠ	専門職の観点から受付・クライアント教育技術を身に着ける	1通	30		○			○		○		
○			動物繁殖学	主に犬の繁殖生理を理解し性周期・疾病予防について理解する	1通	30		○			○		○		
○			志学Ⅰ・ヒューマンスキル	人間性・職業教育を通して、社会人としてのより良い生き方主体的に考える	1通	32			○		○		○		
○			動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを学ぶ。	1通	45				○	○		○		
○			動物内科看護学Ⅰ	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な知識を学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			動物内科看護学実習	動物看護の基礎知識と手技の習得を目標とする	1前	90				○	○		○		
○			動物人間関係学	犬・猫の新生子から老齢までの各ステージの総論を学ぶ	1通	30		○			○		○		
○			動物感染症学Ⅰ	犬・猫に寄生する寄生虫について理解し予防と看護に活かす	1通	45		○			○		○		
○			動物福祉・倫理	働く犬について理解を深め、人と動物の関係を学ぶ	1後	30		○			○		○		
○			動物臨床検査学Ⅰ	臨床検査学実習に向けて、生体検査・検体検査概論を学ぶ	1通	25		○			○		○		
○			動物臨床検査学実習Ⅰ	手術についての一連の手順を理解し、看護援助の基本を学ぶ	1通	42				○	○			○	
○			動物臨床看護学各論Ⅰ	主要疾患の機序、症状、検査法、治療法を学ぶ	1通	60		○			○			○	
○			就職実務Ⅰ	「仕事」を考えるために様々なヒューマンスキルを身に着ける	1通	39			○		○		○		
○			公衆衛生学	公衆衛生の基本的な考え方を理解し社会一般への疾病予防を目的とする	1通	60		○			○		○		
○			動物形態機能学Ⅰ	小動物の体の構造と機能を理解する	1通	60		○			○		○		
○			動物臨床栄養学Ⅰ	犬猫に必要な栄養素・ペットフードと療法食の基本的知識を学ぶ	1通	30		○			○		○		
○			動物行動学	犬の行動学を学び、適正使用と正しいしつけを理解する	1通	30		○			○		○		
○			動物看護総合実習Ⅰ	動物病院で看護実践を学び、病院内業務の補助を行う	1後	120				○		○	○		○
○			特別授業	学校行事、特別セミナー、卒業生講話など他者との関わりを重点とする	1通	135			○		○		○		
○			英会話	外国人のお客様が来店した際の基礎的な対応法について学ぶ	1前	14		○			○			○	

（文化・教養専門課程　動物看護・管理学科（2年制）　動物看護美容コース 動物看護専攻）令和2年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物薬理学	薬の作用機序と有害作用や主な製剤の特性を理解する	2通	60		○			○			○	
○			動物外科看護学Ⅱ	主に薬剤の計算・受付・カルテや顧客管理について習得する	2後	24				○	○			○	○
○			動物外科看護学実習Ⅱ	術前検査に関する意義・外科手術前後における知識・手技について習得する	2前	46				○	○		○	○	○
○			動物臨床栄養学Ⅱ	ステージの栄養要求量・主な疾患別による栄養特性を理解する	2通	36		○			○		○		
○			動物臨床検査学Ⅱ	検体検査・生体検査に関する意義・基本的手技を身に着ける	2通	28				○	○			○	
○			動物臨床検査学実習Ⅱ	検体検査に必要な手技や機器の扱いなど実践力を修得する	2通	45				○	○			○	
○			統一試験対策	動物看護師統一機構認定動物看護師試験取得対策を行う	2後	169		○			○		○		
○			動物臨床看護学各論Ⅱ	主に犬・猫の疾病罹患や看護援助を理解する	2通	60		○			○		○		
○			動物臨床看護学実習	基礎で習得した内容を基に実践能力に応用力を用いる	2通	45				○	○		○		
○			動物内科看護学Ⅱ	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技など、実践力を修得する	2通	28		○			○		○		
○			動物病理学	病理学概論を学び、知識を習得する	2前	30		○			○		○		
○			動物臨床看護学総論	動物看護過程の流れについて看護上の問題点を明確にする	2前	30		○			○		○		
○			野生動物学	主な種類、概論、倫理を学び、動物飼養全般を理解する	2通	30		○			○			○	
○			産業動物学	産業動物の歴史や品種、飼育管理法、および畜産業など社会との関わりについて学ぶ	2通	45		○			○			○	
○			実験動物学	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、実践動物との関りについて学ぶ	2前	15		○			○			○	
○			グルーミング実習Ⅱ	個体別の安全管理を行いグルーミングを行う	2前	48				○	○		○		
○			動物看護総合実習Ⅱ	動物病院で看護実践を学び、病院内業務の補助を行う	2通	64				○		○	○		○
○			動物看護学概論Ⅱ	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学ぶ	2後	30		○			○		○		
○			動物医療コミュニケーションⅡ	クライアントコミュニケーションの習得を目指す	2後	18		○			○		○		
○			動物感染症学Ⅱ	発生機序、原因となる病原体について理解し予防の大切さを伝える	2通	45		○			○		○		
○			動物形態機能学Ⅱ	小動物の体の構造と機能を理解する。	2通	60			○		○		○		
○			動物医療関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学ぶ	2通	30		○			○		○		
○			志学Ⅱ	人間性・職業教育を通して、社会人としてのより良い生き方主体的に考える	2前	15		○			○		○		
○			就職実務Ⅱ	「仕事」を考えるために様々なヒューマンスキルを身に着ける	2通	27		○			○		○		
○			パソコン実習Ⅱ	ワープロ、エクセル3級の取得を目指す	2後	22				○	○		○		

（文化・教養専門課程　動物看護・管理学科（2年制）　動物看護美容コース 動物看護専攻）令和2年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			特別授業	学校行事、特別セミナー、卒業生講話など他者との関わりを重点とする	2通	80			○		○		○		
合計				51科目											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①成績評価すべてＣ評価以上 ②出席状況　年間90％以上 【履修評価】 評価は原則として科目ごとにその前期・後期終了時で其々の評価をする。 評価は、平日の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、期末試験等によって行い、原則として絶対評価とする。 【学業成績】 ①成績評価は原則として科目毎に前期・後期終了時に確認テスト・課題提出・ 科目試験・検定試験・などによって絶対評価で行い、授業態度や出席状況も加味したうえで評価する。 ②成績評価は点数によりＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの4段階をもってこれを表し、Ｄは不合格とする。ただし、Ｄ評価の学生には追試や課題提出を行い学習の機会を与える。 【卒　　業】 本校に在学し、2年間の出席時間が1,700時間以上履修し、かつ、卒業基準検定を取得し成績評価がすべてＣ以上の者に卒業証書を授与する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	26週